

自分で学習を進める力をつけよう

5・6年生用

家庭学習は、学校で学んだことをふりかえり、確かな学力を身につけるためのものです。毎日こつこつ続けていくことが、あなたの大切な学力となり、生きる力になります。さあ、できることから続けてがんばりましょう。

☆家庭学習の3つのポイント

- ①音楽やテレビを消して勉強しよう。
- ②机の上をきれいに片付けてから勉強しよう。
- ③毎日、決まった時間、勉強できるようにしよう。

☆家庭学習の心がまえ

- ①自主的・計画的に勉強しよう。
- ②学習することを決めよう。
宿題や学校で学習したことの復習など
※「**こんな学習をしてみよう**」を参考にしよう。
- ③落ち着いて、ていねいにしよう。

学習時間 50~60分以上
読書 15分 以上

こんな学習をしてみよう

《くり返しの学習》

- ①はっきりとした声で音読をする。
- ②一日のふり返りとして、工夫して日記を書く。
- ③漢字ドリルを活用し、「熟語」や「短文」でくり返し練習する。
- ④教科書の問題や同じ内容のドリルの問題をノートにする。
まちがえたら「どうしてまちがえたのか」を考えて、正しく解けるまでやり直す。
- ⑤コンパスや三角定規・分度器などを使って、正確に図形をかく。

《発展学習》

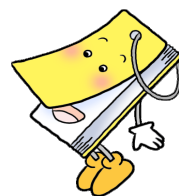
- ⑥詩を覚える。
- ⑦国語辞典を使い、わからない言葉の意味などを調べる。
- ⑧ニュースを見て内容や自分の意見をまとめる。
- ⑨大事な語句を中心に教科書の内容をノートにまとめる。
- ⑩教科書に出てきた場所や歴史的な事ごらを地図や資料を使ってくわしく調べる。
- ⑪わからない内容や興味のあることをインターネットや本などを使って調べる。
- ⑫問題集に取り組む。

*家庭科で学習したことを生かして、進んでお手伝いをしよう。



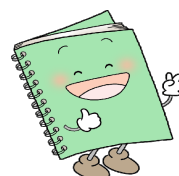
5年生でつきたい力

- 学習した漢字の読み書きができる。
- わかりやすく、時と場に応じた言葉づかいで話すことができる。
- 相手にうまく伝わるように音読ができる。
(正しくすらすら読めるようにする。)
(書き手の思いや意図が、よりよく伝わるように声の大きさや強弱、速さ、間の取り方などを工夫して音読する。)
- 小数のかけ算やわり算ができる。
- 分数のたし算やひき算ができる。
- 割合や百分率を使った問題がとける。
- 面積や体積の公式が分かり、それを使うことができる。
- 日本の国土や産業の様子がわかる。



6年生でつきたい力

- 6年間で学習した漢字の読み書きができる。
- 学習した漢字や熟語を進んで生活の中で使うことができる。
- 相手にうまく伝わるように音読ができる。
(正しくすらすら読めるようにする。)
(書き手の思いや意図がよりよく伝わるように声の大きさや強弱、速さ、間の取り方などを工夫して音読する。)
- 異分母分数の $+$ $-$ \times \div の計算ができる。
- 単位量あたりの考え方や速さの計算ができる。
- 体積や面積の公式がわかり、それを使うことができる。
- 歴史上の人物や事件について説明できる。
- 重要な年号を覚える。



「わたしの暮らし」を見て、
学習準備を整えよう

